

☆☆☆みんなで活用するアクションプランに！☆☆☆

【アクションプラン(学力向上)と校内研究(探究型学習)をリンクさせてみよう】

今年度も最上教育事務所「学校教育指導の重点」「Ⅲ 社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成 1「学校体制とカリキュラム・マネジメントの強化」の中で、特に「学校における育てたい資質・能力の明確化」と「アクションプランに基づく取組の日常化を核としてPDCA サイクルの構築」が柱となっております。

1 学校の課題となる「資質・能力」(つきたい力)を明確にする。

- (1) 全国学力・学習状況調査や県学力等調査及び各種検査等を分析し、教職員が現状から捉える課題を焦点化する。(多くを望まず、**今年度はこの課題を全職員で克服してみようとする姿勢が大切になります。**)
- (2) 学校課題を受け、学校としては何すべきかを明確にして全職員で共有する。(目に見える学力を高めるためには全職員が共有した取組が大切になります。)

2 実際に作成する。(校内研究を関連付けて取り組む)

- (1) 当該の学年や教科の担当教員だけが検討作成するのではなく、全教職員で結果を受け止め、「何ができるか」「学校としては何をすべきか」を共有できるようにする。
- (2) 各取組が「点」で終わるのではなく「線」で結んで実のあるものとなるように整理していく。(校内研究と関連させて、実践の日常化を目指します。)

<作成例>地区の先進的な取組から

様式 A-1 「確かな学力」の育成に向けて・・・つきたい力を明確にした、教科の本質に迫る授業の実践

(1) 調査問題・児童生徒質問紙の分析と、児童生徒につきたい資質・能力		(2) 「つきたい力、資質・能力」を付けるために必要な指導・取組み等 「確かな学力」の育成を意識しながら指導・取組みを考えましょう。		(3) 校内研究との関連					
① 調査問題、児童生徒質問紙の分析等	② 児童生徒につきたい力、資質・能力	「確かな学力」の育成を意識しながら指導・取組みを考えましょう。		③ 校内研究との関連					
<p>1 児童生徒の実態・課題</p> <p>「全職員での実態・課題把握」が学力向上の第一歩</p> <p>(1) 調査問題の分析</p> <p>① 昨年度の全国学力学習状況調査を分析</p> <p>○最上の課題として → 「記述力」の向上 【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問われている条件に合わせて書く力 発表の仕方や説明文のまとめ方など、普通の授業で確実に指導していく。 <p>【算数・数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 何が問われているのか的確につかむ。 数学用語を確実に指導する。 資料を活用する力、資料を見抜く力の育成。 「数学的な考え方」を鍛える。 <p>② 実施したNRT・CRT・その他テストを分析</p> <p>③ 今年度の全国学力・学習状況調査問題を分析 (2学期に活用)</p> <p>(2) 「総合的な学習の時間」を実施しての課題</p> <p>(3) 学校生活において、職員が課題と考える実態</p> <p>よさ</p> <p>KJ法で整理・分析</p> <p>学力・学習面 ————— 生活・行動面</p> <p>課題</p>	<p>2 育てたい資質・能力の明確化</p> <p>「育成をめざす資質・能力」の考え方</p> <p>例1</p> <p>「国語・算数数学・英語でつきたい力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 接続語を使って長文を2文に分ける ○ 複数の資料を関連付けて説明できる <p>「全教科でつきたい力(資質・能力)」</p> <p>複数の情報を関連づけて考察し表現できる力</p> <p>例2</p> <p>学校教育目標 ↓ 研究テーマ</p> <p>めざす児童・生徒像 ↓ 各教科の分析から見えた課題</p> <p>↓</p> <p>つきたい力(資質・能力)</p> <p>つきたい力① 読み取る力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文を理解する力 <p>つきたい力② 自分の考えを筋道立てて書く力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解したことを相手に伝えるように説明する力 	<p>3 必要な指導・取組み等</p> <p>めざす資質・能力を全学年で育むため、「教育活動全般」「全教科」で取り組む内容を整理</p> <p>例1</p> <p>(1) 全学年・教科で取り組む授業改善のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自分の考えを「伝える活動」と「書く活動」の時間を確保する。 ② 「なぜそう考えたのか？」と根拠や理由を問い返す。 ③ ④ <p>(2) 1学期に取り組む教科と単元及び大切にしている内容</p> <p>例2 ○自分の考えを、筋道を立てて書く力 各教科.....</p> <p>○読み取る力</p> <p>国語.....</p> <p>社会.....</p> <p>数学.....</p> <p>理科.....</p> <p>例3 評価(生徒質問紙の活用)例</p> <table border="1"> <tr><th>重点項目</th></tr> <tr><td>自分の思いをきちんと言葉で表せた</td></tr> <tr><td>友達の考えを受け止め自分の考えを伝えられた</td></tr> <tr><td>話し合いで、考えを深めたり広げたりできたか</td></tr> <tr><td>文章を読み考えを広げたり、深めたりできた</td></tr> </table> <p>※全国学力・学習状況調査の質問項目より</p> <p>該当学年、該当教科以外でどのような手立てを講ずるかという視点がとても重要です。</p>		重点項目	自分の思いをきちんと言葉で表せた	友達の考えを受け止め自分の考えを伝えられた	話し合いで、考えを深めたり広げたりできたか	文章を読み考えを広げたり、深めたりできた	<p>4 校内研究の重点</p> <p>学力向上対策と校内研究の視点及び重点との関連を整理</p> <p>例1</p> <p>(1) 課題の吟味</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ② <p>(2) 交流の場の工夫</p> <p>(3) まとめ・振り返りの工夫</p> <p>例2</p> <p>(1) 今年度の最重点課題</p> <p>「まとめ」を自分の言葉で書ける</p> <p>そのために</p> <ol style="list-style-type: none"> ①まとめやすい課題の設定 ②書く時間の確保 ③正しく伝わるような表現力を育成する。
重点項目									
自分の思いをきちんと言葉で表せた									
友達の考えを受け止め自分の考えを伝えられた									
話し合いで、考えを深めたり広げたりできたか									
文章を読み考えを広げたり、深めたりできた									
取組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り (9月)	取組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り (12月)	取組みの振り返り・児童生徒の姿の見取り (2月)							

学校教育目標や研究主題を明記する枠が作成されました。

校内研修との関連を明記することで、学校全体、全職員で取り組むことにつながります！

検証する場面を設定する。
(例) 記述力を高める。
・定期的な〇〇テスト(100点) + 記述問題(10点)で評価していく。
※資質能力が育まれていることを、どうやって見取るかを明確にすることが大切。